

廃棄物・汚染防止への取り組み

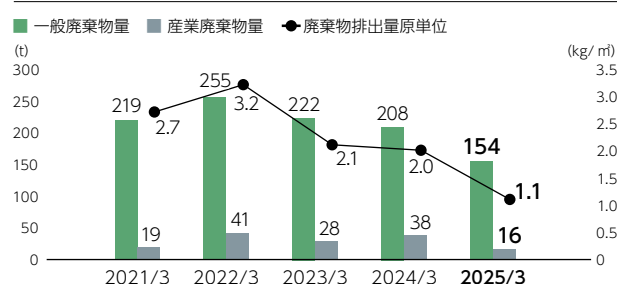
基本的な考え方

当社は、当社が保有・管理する物件から発生する廃棄物の排出削減や、有害廃棄物の発生抑制・管理は、土壌や水資源、働く人や地域住民の健康と安全を守る重要な課題であり、企業としての社会的責任を果たし、ステークホルダーと良好な関係を保つために必要不可欠であると認識しています。当社は、これらの廃棄物について適切に把握・管理するとともに、各種施策の実施を通じて廃棄物の削減に取り組み、循環型社会の実現に貢献していきます。

目標と実績

目標：廃棄物排出量原単位(kg/m²)を前年度より低減する。

廃棄物排出量・廃棄物排出量原単位

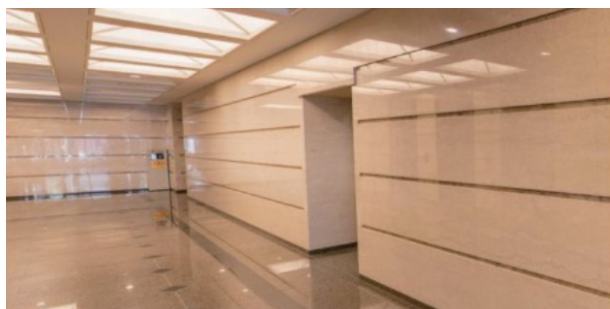


具体的な取り組み

廃棄物の削減・リサイクル

長寿命・高耐久化の取り組み

当社は長寿命・高耐久素材の採用や、「予防保全」という考え方のもと、建物を適切に管理・修繕することで、建物の長寿命化を図り、限りある資源の節約と廃棄物の排出抑制に努めています。当社が本社を構える瓦町ビルのような築年数の経過したビルも、内装や設備等に手を加え、ビルとしての利便性・快適性を向上させることで、長くテナントさまにご利用いただいています。



京阪神 瓦町ビル(1962年竣工) 1Fロビー

有害廃棄物の適切な処理

アスベスト、PCB、フロン等の有害廃棄物については、関連法規に則り適切な調査・処理を行っています。

お客さまとともに取り組むゴミの削減・リサイクル

清掃業務を担うパートナー企業と連携してゴミの分別・リサイクルを呼びかけ、お客さまの協力のもと、テナントフロア内に分別ボックスを設置し、お客さまとともにゴミの削減、リサイクルに取り組んでいます。

リサイクル素材、製品の活用

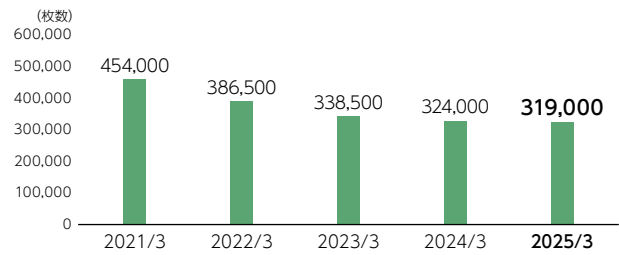
当社では、新規開発や既存物件のリニューアル等にあたっては、リサイクル素材やエコマーク商品を採用しています。また、運用面ではトイレトーパーやハンドソープなど共用部のアメニティについても、環境に配慮した製品を使用するように取り組んでいます。

当社事務所内での取り組み

事務用品については、エコマーク商品やリサイクル製品を利用しているほか、分別ボックスを設置し、廃棄物の分別、リサイクルに努めています。また、業務のデジタル化、ペーパーレス化を進め、当社オフィスで使用する紙の量の削減に取り組んでいます。

なお、2025年3月期の紙使用量は重量換算で1.4tでした。

当社オフィスでの紙使用量推移



汚染防止

大気汚染の防止

当社で設置しているボイラー等から出る排気ガスについては、大気汚染防止法や地域の条例等に基づき、大気汚染物質の排出を抑制しています。

水質汚染の防止

現状当社の保有する物件には、水質汚濁防止法における特定施設にあたる一定規模以上の飲食店やホテルはありませんが、共用部のアメニティに環境への負荷を抑えたハンドソープを採用するなど、水質への影響をできる限り低減するよう努めています。

土壌汚染の防止

土壌汚染対策法に基づき、新たに用地を取得する際は地歴調査を実施しているほか、法に基づいた土壌汚染調査と土壌の浄化を実施しています。